

2021年度 日本工学院専門学校											
デザイン科／インテリアデザイン専攻											
キャリアデザイン3											
対象	2年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	角田 光代			実務 経験	有	職種	インテリアデザイナー				
授業概要											
卒業後の就職へ向けて、デザイン業界のしくみ、デザイナーの職能を学ぶ授業。様々な事例から自分の将来像が見えるようになるようにしていき、学生個々の自己分析を通じて、希望分野への就職を目指すことが目的である。											
到達目標											
講義を通じて働くことの大切さとデザイン業界の社会的な役割、いろいろな職種について学ぶ。各自の適性を考え、希望職種につくために自己分析を行い自分の将来像が見えるようになることが目標である。											
授業方法											
授業では教員の講義を聴講すると共に、テーマに沿った内容について理解を深めていく。講義を通じて働くことの大切さと会社の仕組み、就職活動のプロセスについて学びます。											
成績評価方法											
試験・課題	60%	レポート・試験・課題を総合的に評価する									
ワーク	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
必要な資料はその都度用意して配布していく。聴講内容に関してしっかりと記録すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出と評価を受けることができない。											
教科書教材											
Google classroom活用。 参考資料等は、授業中に配布する。											
回数	授業計画										
第1回	【オリエンテーション】 授業の目的と必要性について理解する										
第2回	【デザイン業界の概要】 デザイン業界の成立ちと現状										
第3回	【授業目的 の 明確化】 デザイン業界の仕組み、デザイン職の種類										
第4回	【デザイン職の理解】 デザイナーとクライアント、生産者の視点										
第5回	【デザイン業界1】 業界の話題紹介、インターンシップ概要										
第6回	【デザイン業界2】 業界の職種についてのガイダンス										

2021年度 日本工学院専門学校	
デザイン科／インテリアデザイン専攻	
キャリアデザイン3	
第7回	【デザイン業界3】 業界の職種についてのガイダンス
第8回	【デザイナーの職能】 デザイナーの様々な業務内容とスキルについて
第9回	【デザイン職の適性】 適性分析の手法、職業分類
第10回	【自己分析1】 解説 性格や能力、価値観などを理解する方法
第11回	【自己分析2】 過去の自分を分析する（自分史を作る）
第12回	【自己分析3】 適性の見つけ方、適性分析の演習
第13回	【自己分析4】 自己分析のプレゼンテーション
第14回	【まとめ】 適性を知り、3年後の目標を決める
第15回	【模擬試験】 就職筆記模擬試験を受けて苦手分野を理解する。